

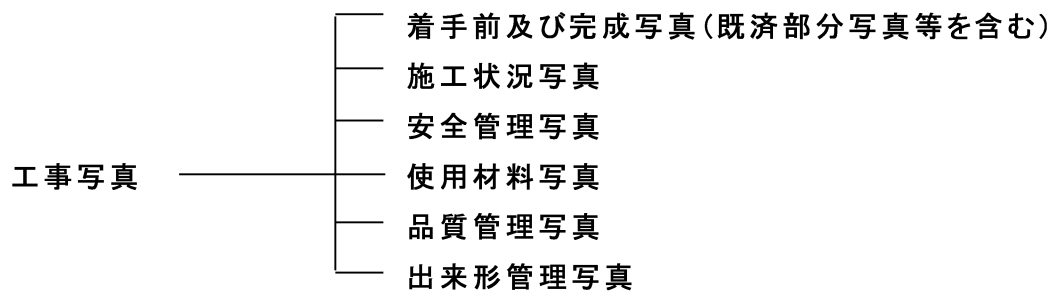
写真管理基準(参考資料)

(適用範囲)

1. この写真管理基準は、農地・水保全管理支払交付金において、活動組織が工事を外部発注する場合の写真の撮影に適用する。

(工事写真の分類)

2. 工事写真は次のように分類する。



(工事写真の撮影基準)

3. 工事写真の撮影は以下の要領で行う。

(1) 撮影頻度

- 着手前及び完成写真 2, 3枚程度
- 施工状況写真 工事の流れが分かる程度に適宜
- 安全管理写真 全景を適宜
- 使用材料写真 適宜
- 品質管理写真 適宜
- 出来形管理写真 不可視部分を適宜及び「出来形管理基準の目安」による

(2) 撮影方法

写真撮影にあたっては、次の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。

- ① 工事名
- ② 工種等
- ③ 測点(位置)
- ④ 設計寸法
- ⑤ 実測寸法
- ⑥ 略図

なお、小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。

(写真の省略)

4. 工事写真は次の場合に省略するものとする。

- (1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。

(写真の色彩)

5. 写真はカラーとする。

(写真の大きさ)

6. 写真の大きさは、サービスサイズ程度とする。ただし、次の場合は別の大きさとすることができる。

- (1) 着手前、完成写真等はキャビネ版又はパノラマ写真(つなぎ写真可)とすることができる。

(工事写真整理帳の大きさ)

7. 工事写真帳は、4切版のフリーアルバム又はA4版とする。

(工事写真の提出部数及び形式)

8. 工事写真の提出部数は次によるものとする。

- (1) 工事写真として、工事写真帳に整理し1部提出する。
- (2) 施工状況写真として、【様式—施工状況】を3部(2～3箇所)提出する。

(留意事項等)

9. 次の事項を留意するものとする。

- (1) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法(上墨寸法含む)が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。